

2025年8月20日

各位

会社名 株式会社エンビプロ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 佐野 富和
(コード番号: 5698 東証プライム)
問合せ先 取締役 管理管掌 竹川 直希
(TEL. 0544-21-3160)

中期経営計画取り下げに関するお知らせ

当社は、2025年8月20日の取締役会において、2024年8月22日に開示した中期経営計画（中計2029）を取り下げることと決議しましたので、お知らせいたします。

1. 中期経営計画取り下げの理由

当社は、2021年の中期経営計画を公表以降、変化の激しい市況環境に柔軟に対応するため、5か年の中期経営計画を毎年ローリング方式にて策定しております。直近では、2024年8月22日に2029年6月期を最終年度とする中期経営計画（中計2029）を公表し、その業績目標の達成に向けて取り組んでまいりました。

しかしながら、これまでの3年間に開示した中期経営計画（サステナビリティ戦略、中計2028および中計2029）において、各計画の初年度で業績の下方修正をすることとなりました。中期経営計画策定時において想定した前提条件から大きく変化する事業環境にあり、また、2025年6月12日ならびに27日に公表のとおり、代表取締役社長の交代ならびに東京証券取引所プライム市場からスタンダード市場への市場区分変更を予定し、大きな変革期を迎えております。不確実な事業環境のもと、将来のビジョンをより明確にしつつ、一層実行重視の経営を行うために中期経営計画を取り下げることといたしました。

2. 今後について

今後につきましては、中期的にROE10%、長期的にROE15%を新たな定量目標といたしました。重要戦略事業の推進等により企業価値の最大化をはかり、株主資本コスト10%（当社試算）の水準を上回るROE達成を目指してまいります。

この変革期において当社は、佐野富和に代わりリサイクル業界の現場に精通した佐野文勝が新代表取締役社長に就任することを予定しております。新たな経営体制のもと、足元の1年間の具体的な利益計画と財務指標を公表し、その確実な達成を毎年積み重ねていく方針といたします。これにより、変化の激しい事業環境においても、より効果的な経営資源の配分や迅速な意思決定によって、将来的な企業価値向上へと繋げてまいります。

現在、当社は「焼却灰からの金銀滓回収事業」「リチウムイオン電池リサイクル事業」「ポリマーサーキュラーエコノミー事業」の3つの重要戦略事業にグループ全体で注力し、中長期的な目線で事業ポートフォリオの抜本的な転換を推進しております。これらは、循環型社会の実現に不可欠な、環境負荷低減と経済合理性を両立させる革新的な事業です。グローバルな資源枯渇問題や環境規制の強化が進む中で、持続可能社会の実現に貢献するだけでなく、当社の新たな成長ド

ライバーとして、長期的な収益性と競争優位性を確立すると確信しております。特に、焼却灰からの金銀滓回収事業については、佐野富和がプロジェクトオーナーを務め、長年の経験と知見を活かし、当該事業を強力に牽引していく体制としております。

投資家の皆様におかれましては、当社の新たな挑戦と事業構造の変革にご理解と引き続きのご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

以上